



GMBREPORT

第61期 年次報告書

2022年4月1日 ▶ 2023年3月31日

株主の皆様へ

TO SHAREHOLDERS

株主の皆様におかれましては、平素よりGMB株式会社、並びにGMBグループ各社に、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、第61期(2022年4月1日~2023年3月31日)の年次報告書をお届けいたします。

当期の世界経済におきましては、新型コロナウイルスの継続的な流行に関連した各種規制、ロシアのウクライナ侵攻に端を発する資源・エネルギー価格の高騰、インフレの進行、急激な為替変動といった課題が現れ、当社グループにとりましても先行き不透明な厳しい環境が続きました。しかしながら、当社関連製品の需要は総じて堅調で、特に海外補修用部品の販売は順調に推移いたしました。物流費用や原材料価格の高騰、円安による輸入コストの上昇に対しましては、販売価格への転嫁を進め、生産性の改善やコスト削減などの競争力強化に努めました。また、当社の9割近い海外売上高比率と外貨建債権の為替評価は、円安の相場が追い風となりました。

この結果、経営成績といたしましては、連結売上高は前期比22.1%の増収となり、2期連続で過去最高を更新。韓国国内の金利情勢を受けて退職給付費用が減少した影響もあり、連結営業利益は前期比86.5%の増益となり、こちらも過去最高を更新いたしました。経常利益は為替相場が円安

に推移したことに伴う為替差益を14億42百万円計上するなどしたことにより前期比69.9%増の33億19百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比83.7%増の12億13百万円となりました。

次期の見通しにつきましては、地政学的な緊張感の高まり、各地域でのインフレ、為替・金利の急激な変動など、世界経済の不透明な状況は継続するものと予想しております。引き続き困難な経営の舵取りが続きますが、業績予想につきましては、収益性を高めながら電動ウォーターポンプなど冷却装置部品を中心に新車用部品の販売を拡大させることで、売上高は945億円(前期比8.4%増)、営業利益は22億円(前期比2.7%増)を計画しております。また、前期に計上した為替差損益を見込まずに、経常利益は17億円(前期比48.8%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は7億円(前期比42.3%減)を計画しております。

難しい局面は継続しますが、今後も、持続可能な社会への貢献と一層の事業成長を目指し、変化への対応力を強化しながら次の飛躍に向けて精一杯努めてまいります。

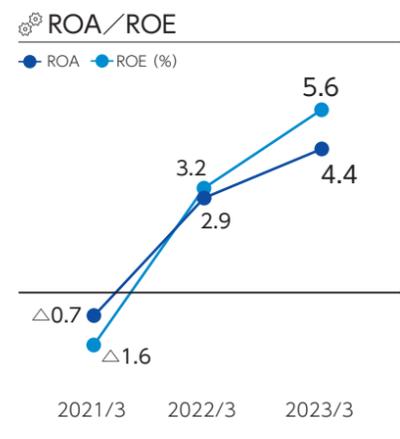
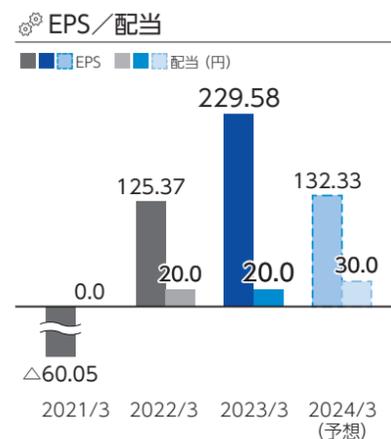
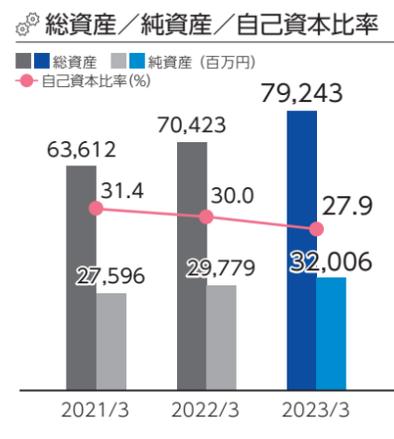
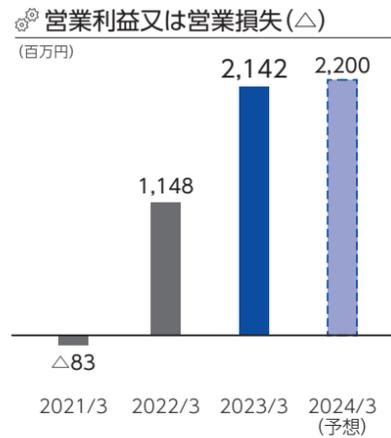
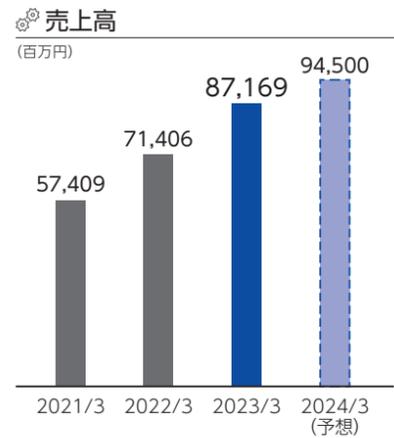
株主の皆様におかれましては、一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 松岡祐吉

連結業績(2022年4月1日~2023年3月31日)

売上高	871億69百万円	前期比 22.1%増 ↑
営業利益	21億42百万円	前期比 86.5%増 ↑
経常利益	33億19百万円	前期比 69.9%増 ↑
親会社株主に帰属する当期純利益	12億13百万円	前期比 83.7%増 ↑





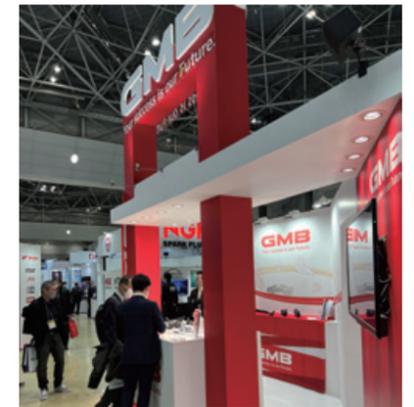
創業80周年

1943年に創業した当社は、本年80周年を迎えることができました。長きにわたり、皆様にご支援を賜りましたこと、心より感謝いたします。
 「地球の成功が、私たちの未来。」をスローガンに、これからも多くの皆様に愛される企業として、事業活動に邁進いたします。周年関連の広報やIR活動も活発化させ、皆様のご理解の向上と信頼の構築に努めてまいります。
 周年ロゴでは、創業以来大切にしてきた社訓「和」の思いを「GMBと地球との和」というコンセプトにし、地球の万物とGMB製品が共存し続けられ、地球規模で豊かさを循環させるGMBの使命を表現しました。

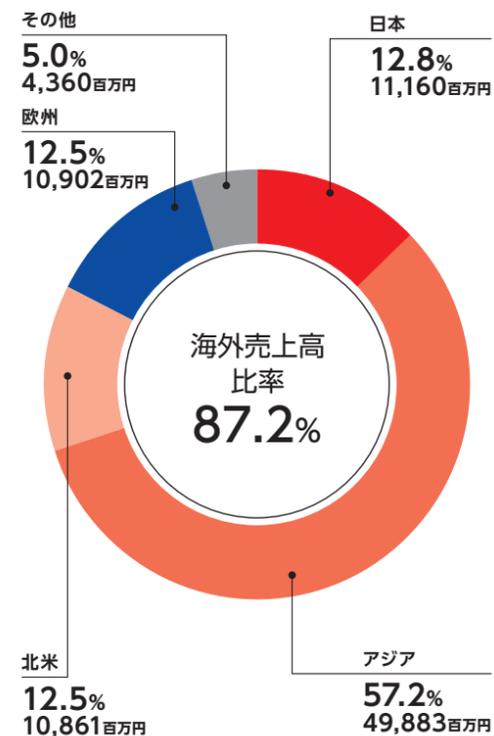


展示会出展を再開

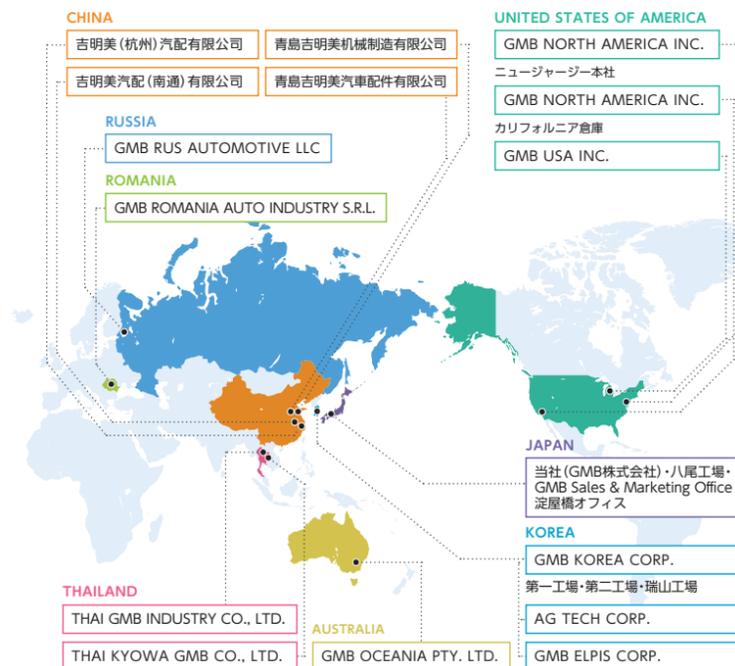
コロナ禍で中止していた展示会への出展を再開させております。代表的なものでは、2022年9月にドイツ・フランクフルトで開催された「Automotomechanika Frankfurt 2022」に出展いたしました。本イベントは、世界最大規模の自動車部品・用品の国際見本市で、通常は2年に1度の開催ですが、今回は新型コロナウイルス感染症の影響もあり4年ぶりの開催となりました。
 また、2023年3月に東京で開催された「国際オートアフターマーケット EXPO2023 (IAAE)」にも出展いたしました。自動車関連ビジネスに関わる幅広い関係者が集まる本イベントでは、国内の関連事業者の方の他に、海外からのお客様ともビジネス交流を深耕することができました。
 また、2022年5月に横浜で開催された日本最大級の自動車技術展「人とくるまのテクノロジー展2022」では、自動車業界のカーボンニュートラル実現に向け、電動ウォーターポンプ、電動オイルポンプ、インテグレートッド・サーマル・モジュールなどを展示いたしました。



GMBネットワーク



GMB NETWORK



米国に製造拠点GMB USA INC.を設立

米国の各種法規制などに対応するべく、当社の顧客である完成車メーカーはグローバルサプライチェーンの見直しを進めております。当社グループでも、米国内に製造拠点を新設し、電動化対応製品を中心に、米国に拠点を置く顧客の部品現地化要求に応えた事業展開と、販路の拡大を目的とした新会社を設立いたしました。

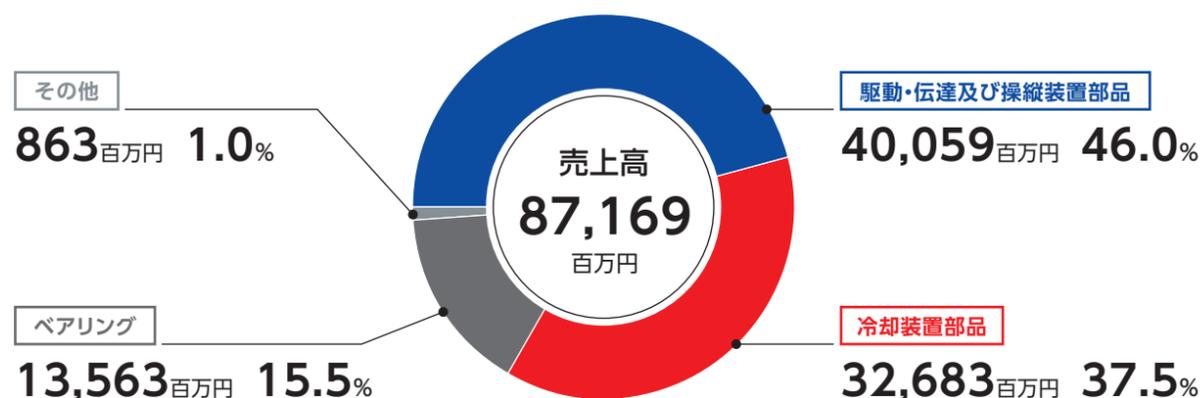


配当方針について

当社は、利益配分につきましては、将来の事業展開と経営体制の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続して実施していくことを基本方針としております。
 2023年3月期の配当につきましては、先行き不透明な環境下とはいえ、株主の皆様の日頃のご支援にお応えするため、1株当たり年間20円とさせていただきます。2024年3月期は、業績が安定的に推移することが見込まれることから、安定配当の水準を引き上げることにより株主還元を強化いたします。配当予想は1株につき年間30円(うち中間配当15円)とさせていただきます。
 当社は、中長期的に企業価値を高めるとともに、株主の皆様に利益を還元していくことを経営の最重要課題の一つとして位置付けています。資本効率の重要性を認識するとともに、財務体制の健全性を維持した上で、自動車の電動化対応への設備投資を効率的に行い、新事業領域への投資にも継続して取り組んでまいります。

GMBグループは、独立系の自動車部品メーカーとして、駆動・伝達系や冷却装置部品といった多様な機能部品を、新車用品と補修用品の両市場に向けてグローバルに製造・販売しております。

製品分類別売上高構成(2023年3月期)



駆動・伝達及び操縦装置部品

海外補修用品市場におけるユニバーサルジョイントに加えて、韓国・中国の新車用品市場におけるバルブスプール、等速ジョイントの販売が増加しました。



主な製品



冷却装置部品

韓国で電動ウォーターポンプの販路拡大を進めるなどしたほか、海外補修用品市場におけるウォーターポンプの販売も増加しました。



主な製品



ベアリング

海外補修用品市場においてハブベアリングなどの取扱品目を拡大したことにより販売が増加しました。



主な製品



連結財務諸表

CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS

⑧ 連結貸借対照表 (要旨)

(単位: 百万円)

科目	当期 2023年3月31日現在	前期 2022年3月31日現在
資産の部		
流動資産	49,817	42,947
固定資産	29,425	27,475
有形固定資産	26,296	24,697
無形固定資産	507	388
投資その他の資産	2,620	2,390
資産合計	79,243	70,423

科目	当期 2023年3月31日現在	前期 2022年3月31日現在
負債の部		
流動負債	39,725	32,957
固定負債	7,510	7,685
負債合計	47,236	40,643
純資産の部		
株主資本	19,427	19,429
その他の包括利益累計額	2,642	1,716
その他有価証券評価差額金	16	12
為替換算調整勘定	2,529	1,606
退職給付に係る調整累計額	96	96
非支配株主持分	9,936	8,633
純資産合計	32,006	29,779
負債・純資産合計	79,243	70,423

⑧ 連結損益計算書 (要旨)

(単位: 百万円)

科目	当期 自 2022年4月1日 至 2023年3月31日	前期 自 2021年4月1日 至 2022年3月31日
売上高	87,169	71,406
売上原価	72,906	59,605
売上総利益	14,263	11,801
販売費及び一般管理費	12,121	10,652
営業利益	2,142	1,148
経常利益	3,319	1,954
特別利益	11	191
特別損失	255	76
税金等調整前当期純利益	3,075	2,069
親会社株主に帰属する当期純利益	1,213	660

⑧ 連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位: 百万円)

科目	当期 自 2022年4月1日 至 2023年3月31日	前期 自 2021年4月1日 至 2022年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,420	△958
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,150	△2,466
財務活動によるキャッシュ・フロー	635	1,809
現金及び現金同等物に係る換算差額	476	289
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,381	△1,325
現金及び現金同等物の期首残高	4,967	6,292
現金及び現金同等物の期末残高	6,348	4,967
フリー・キャッシュ・フロー	269	△3,424

会社概要 (2023年3月31日現在)

商号 GMB株式会社
 会社設立 1962(昭和37)年5月
 資本金 870,489,261円
 代表者 代表取締役社長 松岡 祐吉
 従業員数 連結 2,619名/単体 305名
 事業所 本社・奈良工場
 〒636-0295 奈良県磯城郡川西町大字吐田150番3号
 TEL.(0745)44-1911(代) FAX.(0745)44-1930
 八尾工場
 〒581-0814 大阪府八尾市楠根町4丁目36番3号
 TEL.(072)997-1521(代) FAX.(072)929-4115
 GMB Sales & Marketing Office
 〒541-0046 大阪府大阪市中央区平野町2丁目3番7号
 アーバンエース北浜ビル12階
 TEL.(06)6206-5762(代) FAX.(06)6206-5763
 淀屋橋オフィス
 〒541-0046 大阪府大阪市中央区平野町2丁目4番9号
 淀屋橋PREX11階

役員 (2023年6月23日現在)

代表取締役社長	松岡 祐吉
専務取締役	善田 篤志
専務取締役	大瀧 民也
常務取締役	河田 一良
常務取締役	文 永鈺
取締役	芳村 朋信
取締役	和田 勝也
取締役	大塚 慎
取締役	梁 亨恩
取締役	波多野憲昭
常勤監査役	宮内 誠
監査役	中川 雅晴
監査役	平山 菊二

Webサイトのご案内

当社Webサイトでも会社情報や最新のIR情報をご覧いただけます。



株式の状況 (2023年3月31日現在)

発行可能株式総数 19,000,000株
 発行済株式の総数 5,291,269株
 株主数 2,600名

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
松岡 信夫	1,023,432	19.3
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	310,300	5.9
松岡 栄子	237,567	4.5
松岡 祐吉	145,646	2.8
GMB従業員持株会	144,970	2.7
松岡 祐広	124,813	2.4
金本 順子	120,406	2.3
庄司 聖吾	104,078	2.0
楨田 重夫	97,000	1.8
具 綾子	84,813	1.6

(注) 持株比率は、小数第2位以下を四捨五入して表示しております。
 また、自己株式数を控除して計算しております。

株式分布状況 (2023年3月31日現在)



株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 毎年6月
 期末配当金受領株主確定日 3月31日
 中間配当金受領株主確定日 9月30日
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座の口座管理機関
 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社
 大阪証券代行部
 〒541-8502
 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号
 TEL 0120-094-777(通話料無料)
 (受付時間 土・日・祝日等を除く9:00~17:00)
 上場証券取引所 東京証券取引所 スタンダード市場
 公告の方法 電子公告により行う
 公告掲載URL <https://www.gmb.jp>
 (ただし、電子公告によることができない
 事故、その他のやむを得ない事由が生じ
 たときは、日本経済新聞に公告します。)
 証券コード 7214

ご注意

- 株主様の住所変更、買取請求、配当金の振込指定その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。